
LAST SOLDIERS

鎖戒 憂亮

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

LAST SOLDIERS

【Nコード】

N6268A

【作者名】

鎖戒 憂亮

【あらすじ】

そう遠くない未来、何者かにより全世界に向けて攻撃が行われた。これを引き金に世界は新たな大戦の歴史を刻むことになる……。三年後、この世は荒廃し全世界が独立し、紛争だけが国と国とを繋ぎ留めていた……。

～ prologue ～ (前書き)

この作品はフィクションです。 実在の人物、団体、事件等には一切関係ありません。

～ prologue ～

西暦20XX。4月26日午後4時38分、アメリカ合衆国より日本を含む先進国5か国の主要都市へ計12のミサイルが発射された。突然の事態に各国とも対応仕切れず、被害は深刻なものとなった。

死者2万人、重傷者1万5千人、行方不明者2千5百人、軽傷者に至っては測り知れないものとなった。幸いミサイルの規模が小さかったため数量の割に被害は押さえられた。それでもこの事件による被害は多大なものであり世界を混乱に陥れた。

その後アメリカは全世界に対して以下のように述べた。

「今回の事件の原因は一切不明である。軍事責任者、幹部らは何者かにより殺害されており大統領をはじめとした政治家達の大半も殺害された。

故に今回の事件の主犯は勿論発端も全てが不明であり外部の者による犯行とみて調査している」この会見についての真偽は分からないがこのような説明で被害国が納得するはずもなく反論が相次いだ。

被害を受けた国では民間人による在籍アメリカ人に対する虐殺が行われたこれに便乗してアメリカを除く全世界の国々は 対アメリカ を掲げて暴挙に躍り出た。アメリカにおいても国民による外国人の在籍者を排除する行動にでた。当然アメリカと他国の関係は著しく悪化し戦争に発展するのに時間はかからなかった。戦況は対アメリカ連合軍の優勢のまま勝敗は決しようとしていた。

その時米軍の総司令官を務めていたゴード・サンダースは最後の指令を出した。核の使用という最終指令を。

「CODE#01」 KITE

アメリカが核を発射してから二年。戦争はますます悪化し戦況は地上主体のものとなった。

最初のアメリカの攻撃から約五年。終わりの見えない戦いに人々の不安は募る一方で、どの国も統制がとれなくなり、ほぼ全ての国で秩序が失われ、人類史上最大の荒廃した時代が訪れた。

いつしか人々はこの戦いをこう呼ぶようになった。

「エンドレスファイアー（終わらない恐怖）」

東京渋谷区。数年前まで賑わう人々で栄えたこの街もすでに都市としての昨日を失っていた。

朽ちた建造物、散乱した屍の数々、街を包む血と硝煙の臭い。そして街を這いずり回る黒い影。名はハウル。エンドレスファイアーが生み出した生物兵器である。

赤みを帯びた黒い体。粘液で湿った皮膚。石の壁にすら掛かる鋭利な鉤爪。その姿はまるで眼と耳のない犬の様だった。いつからかこの戦いは人間対生物兵器によるものになっていった。

「ちきしょう！次から次へとキリがねえ！」

三十代半ばほどの男性がハンドガンを片手に壁に体重を預けていた。血の滲んだ肩を庇いながら闇の向こうへ目をやった闇の中から獣が三体。ハウルである。

「クソッ、こんな化け物どものかかって死ぬのか・・・！」

男性は弾の尽きた銃を握りしめて目をつむった死を覚悟した男性にハウルが飛び掛かった。爪が男性に掛かる瞬間、銃声と共にハウルが吹き飛ばされた。返り血を浴びてふと目を開けた男性は驚いて後ろを振り向いた。

男性の目に一人の少年が入ってきた。ざんばらに刈った茶髪。黒いシャツに白いパーカーを羽織っていた。その手には今し方撃った

と思われる銃が握られていた。

「大丈夫かおっちゃん」

その一言で我に返った男性が間をおいてコクリと頷く。

「今からコイツら片付けるからじつとしててくれよな」　そういうと少年は懷に銃を収め腰にかけてた二刀のカトラスを構えた。

少年を敵と判断したハウルが二頭、同時に襲いかかってきた。

飛び掛かってきた一頭のハウルの頭目掛けて回し蹴りを放ち壁に叩きつけた。それだけでハウルの首は折られてしまった。その直後に壁を蹴って襲ってきたもう一頭にカトラスを振り下ろし一刀両断にした。あつというまの出来事に啞然としている男性に最後の一頭が襲いかかった少年の攻撃は間に合いそうにない。

再び死を覚悟した男性の前に突如現れた青年が割って入りハウルの頭を拳で砕いた。

「お前ら一体・・・」

問い掛けられた少年が笑顔で答えた。

「俺？海斗！レッドブレスの早崎海斗！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6268a/>

LAST SOLDIRES

2010年10月28日08時55分発行